

受験番号

国

語

(100点 60分)

(2025年度 A - 1)

注意事項

- 1 試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この問題冊子の表紙の受験番号欄に受験番号を書いてください。  
複数の受験番号がある場合、受験票に記載されているメイン受験番号を記入してください。
- 3 この問題冊子は表紙を除き、14ページです。
- 4 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせてください。
- 5 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、監督者の指示に従って、正しく記入してください。
  - ① 氏名欄 漢字氏名を記入してください。
  - ② 科目名欄 「国語」と記入してください。
  - ③ 受験番号欄 受験票に記載されているメイン受験番号を記入し、その下のマーク欄に、正しくマークしてください。
- 6 受験番号が正しく記入されていない場合は、採点されないことがあります。
- 7 解答は、解答用紙の解答マーク欄にマークしてください。  
例えば 

20
----

 と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のように20の解答マーク欄の③にマークしてください。  
(例) 

解答マーク欄											
20	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
- 8 問題冊子の余白等は適宜利用してもかまいませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 9 不正行為について
  - ① 不正行為に対しては厳正に対処します。
  - ② 不正行為に見えるような行為が見受けられた場合は、監督者が注意します。
  - ③ 不正行為を行った場合は、その時点で受験を取りやめさせ退室させます。

国

語

(  
解答  
番号

1

5

34

)

第1問 次の文章を読んで、後の問い(問1～問10)に答えなさい。

日本は敗戦後、帝国という全体主義から民主主義の国に変化したはずなのに、なぜか同調圧力で人々の精神的自由を圧迫する現象は、根強く残っている様子です。

時代が二十一世紀に入り、生活を取り巻くテクノロジーが大きく発展しても、同調圧力という「村の掟」のような精神的支配の枠組みが、いつまでも社会の中心部に居座っています。

なんでそんなことになるのでしょうか？

その理由を一言で説明するならば、日本人の多くは現在もお、同調圧力という国民相互が自発的に統制し合うやり方が「好き」だから、ではないでしょうか。

こう書くと、身も蓋もない話になってしまいますが、より丁寧に説明すると、日本人の多くは同調圧力にトモナう「マイナス面」よりも、それが集団に及ぼす「プラス面」の方が大きいと考え、それを社会から無くすよりは、むしろあった方が、自分にとっても望ましいかも、と理解しているのではないかと、ということなのです。

いや、私は同調圧力なんて全然「好き」ではないぞ、という方もおられるかとは思いますが。でも、「だから私は同調圧力を社会から無くすための戦いを日々続けている」という市民が、今の日本にどれだけいるのでしょうか？

積極的に「好き」ではないけれども、消極的に「嫌いではない」という言い方なら、自分もその中に含まれるのかもしれないと感じる人は、今の日本社会で、意外と多いではありませんか？

国民相互の自発的な統制という面から、同調圧力の「効能」を考えると、そこには「社会の秩序を安定させる効果」があることに気がきます。

秩序、というものは、そこにいるみんなが「和を乱す」ような態度をとることなく、ピラミッドやツリーのような形の「上下の序列」を形成して、下の者は上の者に従順に従うことで成立する、有機体のような状態を指す言葉あるいは概念です。

個人の自由や権利という観点から見るとは、国全体や共同体全体のヘイオンな維持という観点から、同調圧力のメリットを考えれば、それを使うことによって内部の秩序が保たれるという「効能」が、プラスの価値として認められます。

みんなが確固とした自分の意見を持たず、全体あるいは指導部の意向に合わせて、同じ方向性の考えを抱いて行動すれば、あれこれと議論する手間がハブけるので、**A** 的だ。

そんな風に思う人は、少なくないではありませんか？

この一見もつともらしい考え方の危険性については、<sup>(注)</sup>第三章と第四章で詳しく論考しますが、日本の社会は昔も今も、欧米などの民主主義が発達した国と比較すると、社会の中の優先順位として、「個人の自由」よりも「全体の秩序」を上位に置く傾向が強いようです。中学生時代の経験も含め、私は今までに何度も、そんな気分を味わってきました。

自由という概念を「わがまま」や「自分勝手」のように曲解<sup>1</sup>し、厳しい校則で制限して「校内の秩序を守る」という教師は、日本の学校では珍しくありません。

そして、集団や共同体の秩序を維持するために、さまざまな形で活用されてきたのが、同調圧力という **B** 的な「道具」でした。

日本では諸外国に比べて「個人」が尊重されない、という話を、本章のはじめの方で書きましたが、それはつまり、日本人は同じ集団や共同体に所属する自分以外の人間、とりわけ「仲間」や「身内」以外を、あまり信用していない、ということでもあります。

なぜなら、自分の「仲間」や「身内」以外の人間でも「個人として信用すること」で、お互いに「個人として尊重し合う」関係を構築できるからです。その逆のパターンとして、自分の「仲間」や「身内」以外の人間を信用しなければ、それらの人間が「何をしてくすかわからない」という不安<sup>さいな</sup>に苛まれることとなります。知らない誰かが、自分勝手なことばかりすれば、集団や共同体の秩序が乱れていき、安心して日々を過ごすことができなくなるかもしれない。

そんな懸念<sup>甲</sup>が際限なく膨らむと、全体を統制する「規則」と、それを個々のメンバーに押し付けて従わせる同調圧力があつた方がいい、という考えになります。

——明文化された「規則」が無いなら、暗黙の合意に基づく「しきたり」や「空気」でもかまわない。それらの **C** 的な方向性を持つ心理的な共通認識があれば、 **D** 的な秩序の安定と自分たちの「心の平和」が保たれるはずだ——。

そんな風に考えると、人は自然と規則や同調圧力を自ら求めて、自分の思考や行動の自由を多少放棄しても、それ<sup>オ</sup>で全体を統制してもらいたいと思うようになります。

そして、そうした心理がエスカレートすると、自分を含む集団や共同体を支配するリーダーに、全体を統制する「権力」<sup>乙</sup>を付託<sup>オ</sup>した方がいいという考えに至ります。

では、自覚しないまま、自分の思考をリーダーの思考に同調させるとどうなるか。

自分が本来持っているはずの自由や権利をリーダーが不当に侵害するような事態が生じてても、それに対する怒りの感情を抱かなくなり、むしろ「リーダーの目線」<sup>2</sup>のような状況の「合理性」を見出し、理解を示すようになります。

昨今の日本では、自分は権力に支配される側の国民なのに、なぜか支配する側の首相や政府の目線で物事を考えたり、自分も安い賃金で雇われている被

雇用者の立場なのに、なぜか経営者の目線で雇用問題を考える人が珍しくないようです。

最低賃金を上げる、という労働者のデモを見て、自分も被雇用者の立場なのに、妙に冷めた態度で「むやみに賃金を上げて会社の経営が傾いたら、困るのはお前らだろう」などと、経営者目線で思考してデモの参加者をあざ笑う態度をとったりします。

あるいは、政府のオウボウな政策に対して座り込みで抗議活動をする市民を見て、自分も税制など他の政策で現政権から冷遇されている立場なのに、<sup>d</sup>「あいつらは自分勝手な行動で社会に迷惑をかけている」などと悪口をルフし、<sup>e</sup>抗議活動への賛同が広まるのを邪魔したりします。

<sup>3</sup>こうした現象も、全体の秩序を維持するというプラスの側面を過剰に重視した結果としての、リーダーの思考形態への無自覚な同調だと言えます。そして、思考がそんな状態になれば、自分は「支配される側」なのに「支配する側」だと錯覚して、支配する側に都合のいい方向性の同調圧力を、周囲のメンバーにかけることが平気になります。

本人はいいことをしているつもりで、自分の思考をリーダーに同調させ、周囲の人々に同調圧力をかけて全体の秩序に従わせるという構図は、昔の日本にも存在しました。それが最も激しかったのが、先の戦争中、つまり昭和の大日本帝国時代でした。

(山崎雅弘『この国の同調圧力』による)

(注) 第三章と第四章は本文は第二章にある。

問1 傍線部 a) e) のカタカナにあたる漢字と同じ漢字を含むものを、各群の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選びなさい。

【解答番号】

①  
⑤

a トモナウ

①

- ① 手続きがハンザツだ。
- ② ハンロを開拓する。
- ③ 子どもをドウハンする。
- ④ モハンを示す。
- ⑤ 本がハンを重ねる。

b ハイオン

②

- ① オンコウな紳士。
- ② クオンの理想。
- ③ オンギに報いる。
- ④ オンケンな思想。
- ⑤ オンネンを抱く。

c ハブける

③

- ① チュウセイを誓う。
- ② 募参りでキセイする。
- ③ ウンセイを占う。
- ④ 荷物をセイリする。
- ⑤ 敵国にセイフクされる。

d オウボウ

④

- ① 契約書にオウインする。
- ② オウギをきわめる。
- ③ 駅までオウフクする。
- ④ 顔面をオウダする。
- ⑤ 道路をオウダンする。

e ルフ

⑤

- ① キョウフ心をいだく。
- ② 食品がフハイする。
- ③ 電気自動車がフキユウする。
- ④ フセキをうつ。
- ⑤ ホウフな資源に恵まれる。

問2 空欄 A ～ D を補う語として最も適当なものを、次の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選びなさい。(同じ番号を二度以上選んではいけません。)[解答番号 A = 6、B = 7、C = 8、D = 9]

- ① 心理
- ② 自発
- ③ 全体
- ④ 効率
- ⑤ 統一

問3 傍線部ア～オの「それ」の指示内容として誤っているものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。[解答番号 10]

- ① ア＝同調圧力
- ② イ＝同調圧力の「マイナス面」
- ③ ウ＝同調圧力
- ④ エ＝全体を統制する「規則」
- ⑤ オ＝規則や同調圧力

問4 傍線部1「曲解」の「曲」と意味が同じものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。[解答番号 11]

- ① 曲線
- ② 戯曲
- ③ 曲学
- ④ 委曲
- ⑤ 曲芸

問5 傍線部甲「懸念」、乙「付託」とほぼ同じ意味を表す熟語を、各群の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選びなさい。

[解答番号 甲 = 12、乙 = 13]

- |       |      |      |      |      |      |
|-------|------|------|------|------|------|
| 甲「懸念」 | ① 期待 | ② 心配 | ③ 想像 | ④ 疑念 | ⑤ 夢想 |
| 乙「付託」 | ① 委任 | ② 譲渡 | ③ 請願 | ④ 提案 | ⑤ 奪取 |

問 6 傍線部2「『合理性』」とはどういうことですか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号

14

- ① 自分の思考とリーダーの思考を同調させること
- ② 集団の秩序が能率的、効果的に維持されること
- ③ リーダーが集団や共同体を不当に支配すること
- ④ リーダーの側に立って自ら権力を行使すること
- ⑤ 個人が規則や同調圧力を自ら進んで求めること

問 7 傍線部3「こうした現象」の説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号

15

- ① 政府が政策に対する国民の抗議活動をあえて無視したり、会社が労働者のストを不法に阻止したりする現象
- ② 政府や会社の同調圧力に積極的に従う人たちが、全体の秩序を乱す国民や労働者の自由と権利を侵害する現象
- ③ 自分が本来持っているはずの自由や権利を政府や会社が不当に侵害する事態に対して、激しく抗議する現象
- ④ 同じ国民であり労働者であるのに、政府や会社の側に立って、国民や労働者の自由な活動を妨害しようとする現象
- ⑤ 政府や会社が国民や労働者の自由や権利を侵害する事態をめぐって、国民や労働者の間で意見が対立する現象

問 8 本文の内容上、他の四つとは異質なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号

16

- ① 個人の尊重
- ② 上下の序列
- ③ 同調圧力
- ④ 全体の秩序
- ⑤ リーダーの思考

問9 筆者は「同調圧力」とはどのようなものだと考えていますか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

〔解答番号〕  
17

- ① 同調圧力とは権力者が国民の自由や権利を制限しようとする動きを言い、権力に批判的な人にとっては厄介なものである。
- ② 同調圧力とは権力者が国民の自由や権利を制限しようとする動きを言い、権力者に迎合する人にとっては歓迎すべきものである。
- ③ 同調圧力とは国民同士がお互いの行動を規制し合おうとする心理を言い、社会を安定させるために重要なものである。
- ④ 同調圧力とは国民同士がお互いの行動を規制し合おうとする心理を言い、自由と権利に基づく社会の秩序を安定させるものである。
- ⑤ 同調圧力とは国民同士がお互いの行動を規制し合おうとする心理を言い、権力者にとってはまことに好都合なものである。

問10 筆者は多くの日本人が「同調圧力」を肯定的に考える理由についてどのように考えていますか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号〕  
18

- ① 日本は敗戦後、民主主義の国に変化したにもかかわらず、個人の自由と権利を剥奪しようとする全体主義の復活を待ち望む人々がしだいに増加しつつあるから。
- ② 日本の社会は昔も今も、個人の自由より全体の秩序を重んじる傾向が強く、人々は仲間や身内に対してさえも、彼らの思考や行動の自由と権利を奪おうとするから。
- ③ 日本人は仲間や身内以外の人間を信用しない傾向があり、安心して暮らすためには全体を統制する規則を人々に押しつけて従わせる必要があると考えているから。
- ④ 日本人の中には自由を「わがまま」や「自分勝手」のように曲解して、自分勝手にふるまう人々がいるため、彼らに圧力をかけて秩序の安定を図る必要があるから。
- ⑤ 日本では、テクノロジーが大きく発展しても、「村の掟」のような精神的支配の枠組みが根強く、多くの日本人はリーダーとなって全体を統制したいと考えているから。

第2問 次の文章Aと文章Bを読んで、後の問い（問1～問10）に答えなさい。（文章BのI～VIは段落番号を表します）

1 A

人はパンのみにて生きるものにあらず、とは聖書の言葉で、信仰⇨精神世界の重要性を説いているわけだが、この言葉は宗教から離れても真理だと私は思っている。

パンに象徴される物質的な欲求対象の対極にあるものの代表は宗教的な信仰世界だが、芸術もそうである。それらは人間の精神的な欲求から生まれたのだし、そうしたいわゆる高尚なものだけでなく、芸能や娯楽<sup>b</sup>という大衆的な分野にいたるまで、人間が希求している非物質的な対象を具現化しているものはいくらでもある。（1）

人類はその最初期から洞窟<sup>c</sup>に絵を描き、頼りになる神を想像⇨創造し、そして物語を語ったはずである。暇<sup>d</sup>だったからそうした「フィクション」を楽しんだのではなく、生きるために必要だったからだ。人間とは、そういう生き物なのである。パンのみでは生きられないのだ。

なぜ物質的欲求を満たすだけでは生きていけないのかといえば、自分たちが生きている現実世界は苛酷<sup>e</sup>で、圧倒的な力を持ち、どうしたってかなわない、ということを理解する知恵をわれわれ人類が持ってしまったためである。（2）

人間は知恵を持ったがゆえに、地震や津波や火山噴火に見舞われたら死を覚悟しなくてはならないという「リアル」な現実が見えるため、不安になる。自分を殺そうとしている、むき出しの「リアル」、つまり「現実の真のありよう」を直視することに人間は耐えられない。（イ）、「フィクション」というフィルターをかけて現実を見る。この世界は神により創<sup>f</sup>られたのであり、創造主である神がわれわれにむごいことをするはずがない、というように。

こうした安心できる「フィクション」なくして、人は生きられない。宗教や芸術をはじめ、芸能や文芸などはみな、生きるために必要な「フィクション」だ。科学的思考もまた、例外ではない。科学は事実を扱うが、その「事実」は人間の脳が理解できるものに変換されているのであって、「リアル」そのものではない。

芸術作品など何の役に立つのかと言う人がいる。かと思えば、歌舞音楽やエンターテインメント小説などは人を慰撫<sup>g</sup>するものであって基本的にはなくともよいものだし、結局のところ暇つぶしの道具にすぎない、と考えている人もいる。経費削減と称して文化施設の廃止を推し進める自治体も増えてきた。有権者の多くが、「それでも生きていける」と漠然<sup>g</sup>と感じているからだ。それでだれかが死ぬわけではない、と。（3）

そのような人は、「人間はパンのみでは生きられない」という事実を深く考えたことがないか、理解できないのだ。（ロ）、人ごとだと思っている。「フィクション」がなくなったら人間は、自分は、「生きていけない」、すなわち「死ぬ」のだ、ということ想像する能力に欠けている。自分もまた人間であるということも、忘れている。実に、危ない。（ハ）、その危うさに気づいていない。

自分が危険な状態にあることに気づくのに役に立つのが想像力というものであって、それを鍛えるのが、これまた「フィクション」である。

「フィクション」は私たちに、体験したことのない世界を見せてくれる。宗教がそうだし、絵画でも娯楽小説でも、そこになにが表現されているのかを<sup>i</sup>理解するには一定の想像力を必要とする。この想像力は、現実世界でなにが起きているのかを、(二)自分の住んでいる土地のどこかで子どもたちが<sup>i</sup>飢えているかもしれない、といったことを想像する力と、まったく同じである。「フィクション」で鍛えられる想像力は、現実を知る力になるのだ。

(4)

パンではないもの、「フィクション」とは、私たち人間が、圧倒的な力を持つ「リアル」に対抗するための盾や防護服のごとく、必要不可欠なものであり、同時に、希望でもある。

東日本大震災のような大災害が起きたときなど、飢えた子どもに対して自分の仕事は無力だと感じる創作者は少なくない。(ホ)、それは、違。飢えて死にそうなる子どもに必要なのは、パンと、希望という「フィクション」だ。どちらが欠けても子どもの健康を取り戻すことはできない。創作者たちは、人を生かす仕事をしているのだ。(5)

<sup>4</sup> フィクションの持つ力は、とても大きい。それに気づくと人生がより豊かになるので、これを機会にフィクションについて思索することをお勧めする。「フィクション」とは、現実を映す鏡でもある。そこに飢えた子どもやあなた自身が見えてくるなら、私もうれしい。

(神林長平「フィクション」の力)による)

B

I 虚構というのは、真実ではない見せかけ(虚)という意味と、現実とは違う作り事(構)という意味をあわせもった語だ。どちらにしても、事実からではなく、ひとが想像で作ったものという意味が含まれている。でも真実とは何か、現実とは何かと考えてみると、簡単にはいけなくなる。虚構がときに現実の真実の表現よりも、ぼくたちの心の真実を語ってくれることもあるからだ。二〇〇一年九月一日の同時多発テロで、ニューヨークのツインタワーが崩壊したとき、ぼくたちは多くのSF映画を思いだしていた。現実が虚構を模倣しているように見えたのだ。虚構は現実よりも真に迫っていることがある。

II ソクラテスは多くの対話編で、対話の相手に神話(ミュトス)を語るのをやめてくれと頼んでいる。たとえば徳とは何かを考察する対話では、徳は神が人間に与えたものだという神話で、徳を人間に教えることができるかと説明しようとする。しかしそれでは徳とは何かというソクラテスの望む地道な考察は到底できなくなってしまう。こういう神話があると云われたら、反論できないからだ。ソクラテスは神話という虚構ではなく、対話によって語り手の論理が一貫しているかどうか、矛盾がないかどうかを確認していくことで、真理に到達しようとしたのである。

III 神話という虚構と哲学の真理を対立させる考え方は、西洋の伝統を貫いている。プラトンは哲学とは真理を直接に見て語る営みだと考えていた。だ

から言葉に飾りはいらぬし、言葉を飾ることは、語ることに真理が欠けていることだと考えたのだ。

IV レトリックとしての弁論術というものは、あるものの真の姿を語るのではなく、言葉の飾りによってその議論をごまかし、相手を説得する術だとされるようになった。真理でないからこそ、弁論術が必要だと見なされたわけだ。哲学者から見ると哲学は真理の側に、弁論術は虚構の側に位置している。

V ところが西洋の社会はキリスト教という宗教に依存してきた。最初は政治的な権力はキリスト教と対立していたが、やがては人々の心を捉えたキリスト教に頼らずには権力を維持できなくなったのである。周知のようにキリスト教の教義には、神の子の死と復活、処女懐胎のように、虚構と見なさざるをえない物語がその核心にある。そして西洋の中世から近代の政治理論には、こうした宗教的な虚構が潜んでいるのである。王権神授説などの理論はその典型である。日本だって例外ではない。

VI だとすると、社会の機構そのもののうちに、宗教的な虚構が入り込んでいることになる。イスラームの世界を見ても、預言者ムハンマドが神から伝えられた言葉が、社会の機構や法律の根拠とされているのである。ぼくたちは科学や学問によって真理を探究しているはずなのだが、それでいてぼくたちの生活の根っここのところには虚構が存在していることになる。

(中山元『高校生のための評論文キーワード100』による)

問1 傍線部a～jの漢字の読みが間違っているものを、各群の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選びなさい。〔解答番号 i 19、ii 20〕

i ① a 高尚(こうそう) ② b 娯楽(ごらく) ③ c 洞窟(どうくつ)

④ d 暇(ひま) ⑤ e 苛酷(かこく)

ii ① f 創(つく) ② g 漠然(ばくぜん) ③ h 鍛(きた)

④ i 飢(う) ⑤ j 盾(ほこ)

問2 空欄(イ)～(ホ)を補う語として最も適当なものを、次の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選びなさい。(同じ番号を二度以上選んではいけません。〔解答番号 i 21、ロ 22、ハ 23、ニ 24、ホ 25〕)

- ① あるいは ② たとえば ③ だが ④ しかも ⑤ そこで ⑥ ただし

問3 傍線部1「人はパンのみにて生きるものにあらず」とありますが、本文で「パン」と対比的に使われている語句として最も適当なものを、次の

①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 26〕

- ① 現実世界
- ② 真理
- ③ 人間
- ④ フィクション
- ⑤ 物質的欲求

問4 傍線部2「それ」が指示する内容として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 27〕

- ① 暇つぶしの道具
- ② 経費削減と称すること
- ③ 文化施設の廃止
- ④ 自治体
- ⑤ 「それでも生きていける」と漠然と感ずること

問5 傍線部3「人間である」とありますが、ここではどのようなことを意味しますか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 28〕

- ① 科学が発達しても、人間は信仰なしでは生きられないということ
- ② 人間であるがゆえに、フィクションを必要としているということ
- ③ 他の生き物と同じく、人間も死を免れることができないということ
- ④ 人間は苛酷な現実に対峙<sup>たいじ</sup>するための知恵を持っているということ
- ⑤ 人間は自分の身に危険が迫っていても気づかない動物だということ

問6 傍線部4「フィクションの持つ力は、とても大きい」とありますが、その理由の説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 29〕

- ① フィクションは「リアル」な現実の直視を可能としてくれるだけでなく、人生をより豊かで充実したものにし、さらには無力な人を元気づけてもくれるから。
- ② フィクションは人間の精神的な欲求を満たしてくれるだけでなく、科学的思考を鍛えるのに役立ち、さらには豊かな現実世界を映す鏡ともなってくれるから。
- ③ フィクションは苛酷な現実を理解する知恵を生み出してくれるだけでなく、その現実に対抗する力を与え、さらには想像の世界で希望をもたせてくれるから。
- ④ フィクションは「リアル」な現実にはフィルターをかけてくれるだけでなく、科学的思考によってその現実を知り、さらにはそれに対抗する力を与えてくれるから。
- ⑤ フィクションは苛酷な現実に対する不安を和らげてくれるだけでなく、現実を知るための想像力を鍛える力ともなり、さらには希望を与えてくれるから。

問7 Aの文章から次の文が抜け落ちています。どこに戻すのが最も適当ですか。後群の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 30〕  
決して無力ではない。

- ① ( 1 )
- ② ( 2 )
- ③ ( 3 )
- ④ ( 4 )
- ⑤ ( 5 )

問8 Aの文章の内容と合致しないものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 31〕

- ① 科学は圧倒的な力を持つ自然に対しては無力なため、「リアル」そのものは扱わない。
- ② フィクションは単なる暇つぶしの手段ではなく、生きる上で不可欠なものである。
- ③ 想像力はフィクションを理解する上でも、また現実を知る上でも必要なものである。
- ④ 大災害が起きたとき、飢えた子どもに必要なものは、パンとフィクションである。
- ⑤ 想像力があれば、世界のどこかに飢えた子どもがいることに気づくことができる。

問9 Bの文章を大きく三つの部分に分けた場合、その分け方として最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 32〕

- ① (I) (II・III) (IV・V・VI)
- ② (I) (II・III・IV) (V・VI)
- ③ (I・II) (III・IV) (V・VI)
- ④ (I・II) (III・IV・V) (VI)
- ⑤ (I・II・III) (IV) (V・VI)

問10 Aの文章とBの文章を比較したものとして最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選びなさい。(解答の順序は問いません。)

〔解答番号 33・34〕

- ① Aの文章もBの文章も、フィクション(虚構)が現実そのものを凌駕するリアリティを持ちうることを論じている。
- ② Aの文章もBの文章も、宗教や文芸や科学などがフィクション(虚構)を前提として成り立っていると指摘している。
- ③ Aの文章もBの文章も、フィクション(虚構)の世界と現実世界との関わりを主要なテーマとして論じている。
- ④ Aの文章はフィクション(虚構)を人間の生という観点から論じているが、Bの文章はそれを社会の構造という観点から論じている。
- ⑤ Aの文章はフィクション(虚構)を宗教や文芸を超えた広い視野から捉えているが、Bの文章はそれを宗教の視点からのみ捉えている。
- ⑥ Aの文章はフィクション(虚構)を科学的思考を支えるものと捉えているが、Bの文章はそれを科学の真理探究を妨げるものと捉えている。